



一時は取り壊しの運命にさらされていた旧・書庫、赤煉瓦の建物。  
そのフォルムと醸し出す雰囲気惚れ込んだ市民のネットワークで、  
保存・再生の道が開かれ、26年前に新しい施設として蘇りました。  
剛健さと、ぬくもりを併せ持った赤煉瓦建築が導いた奇跡は、  
今日、ピアノやチェンバロの音色を響かせ、市民の創造の拠点として  
ゆたかな文化を育み続けています。  
そんな赤煉瓦建築100年の節目に  
赤れんがの”来し方行く末”に想いを馳せます。



# 赤れんが100年 祝 ←キシカタユクスエ→

●1918(大正7)年 山口県立山口図書館の2番目の書庫として、耐火性と美観に優れた煉瓦造りの建物として完成。 ●1923(大正12)年 図書館の移転に伴い書庫としての機能を失う。山口県教育会へ移管され教育会館の一部として利用される。1983(昭和58)年に教育会館が移転したあとは、周辺も含め荒れ果てる。 ●1982(昭和57)年 県は建物の老朽化を理由に取り壊すことにしていたが、市民による「赤れんがの会」が発足し、保存再生運動が始まる。 ●1990(平成2)年 山口市の「彩りあるまちづくり協議会」が保存修復・有効活用について具体的な協議を行う。 ●1992(平成4)年 5月 国の「ふるさと創生資金」などを活用し、現在の建物に生まれ変わる。市民から募集した名称の中から「クリエイティブ・スペース赤れんが」が選ばれ、開館となる。

【設計】山口市建築課、今井徹也建築設計事務所

●1993(平成5)年 ベルカ(BELCA)賞 リフォーム部門受賞 ●1998(平成10)年 登録有形文化財となる。 ●2017(平成29)年 JIA25年建築選に登録

## 赤煉瓦建築100年をふりかえるパネル展

9月15日(土)～24日(月・祝) 9:00～17:00 クリエイティブ・スペース赤れんが ロビー  
山口県立図書館の書庫として建てられた赤れんがの、今日に至る100年の写真や資料などをパネルにして展示します。

## 対談とミニコンサート

9月22日(土) 13:30～15:00 13:00開場 クリエイティブ・スペース赤れんが ホールII  
C・S赤れんがとして蘇った当時のことをよくご存知のお二人に、赤煉瓦建築100年の歴史をふりかえていただきます。  
またミニコンサートでは、山口市、在住の二人の音楽家が100年の節目をはれやかに歌い、奏でます。

### 対談

今井徹也 いまいてつや (有)今井徹也建築設計事務所 所長  
1967年、日本大学短期大学部三島工科建築学科卒業。1981年今井徹也建築設計事務所設立。同年より旧山口県立図書館書庫の保存・再生・活用運動に関わる。1990～1991年に同図書館整備事業に伴う設計。賞歴として第43回山口県芸術文化振興奨励賞、県民住宅試作事業最優秀賞、2008年山口県文化功労賞ほか。



荒瀬秀治 あらせひではる 山口市阿東総合支所 所長。  
1983年、山口市役所建築課に建築技術職員として採用され、1986年より赤れんがの保存・再生事業に携わる。2004年、山口市教育委員会をかわぎりに、山口市建築課長、山口市中心市街地活性化推進室長、山口市都市建設部次長を経て、2018年4月より、現職。



### ミニコンサート

プッチーニ作曲 オペラ「蝶々夫人」より抜粋  
～蝶々夫人の面影～

坂井里衣 さかいりえ ソプラノ  
エリザベト音楽大学大学院修了。第28回飯塚新人音楽コンクール第3位、第6回長久手国際オペラコンクール第2位など。山口芸術短期大学芸術表現学科非常勤講師。中国二期会、西日本オペラ協会会員。



山口サヤカ やまぐちさやか ピアノ  
3歳よりピアノを始める。(医)樹一会 山口病院「こもれびコンサート」主宰。コンサートの収益を東日本大震災の震災孤児に寄附する「音楽の虹プロジェクト」主宰。Fiori Piano Duoメンバー。



クリエイティブ・スペース赤れんが

OPEN 9:00～17:00(休館日=月曜日・祝日の翌日)

〒753-0088 山口市中河原町5-12 TEL 083-928-6666 FAX 083-928-6611

✉ renga-ya@c-able.ne.jp <http://www.akarenga.justhpb.jp/>

